

近年の建設業を取り巻く社会課題に対し、【生産性向上】、【建設現場・就業環境改善】、【技術力継承と新技術導入】を建設事業者団体等と連携し総合的に取組を進めてきた。新技術導入では、BIM※は建設DXの中核であり、計画的な技術人材育成や個別設計案件等での活用を進めていきたい。

※BIM(ビルディングインフォメーションモデリング)とは、コンピューター上の1つの3Dモデルに、建物の属性情報などを内蔵した建物情報モデルを構築するシステム。デジタル技術を活用し、作業効率化やコスト削減が期待される。

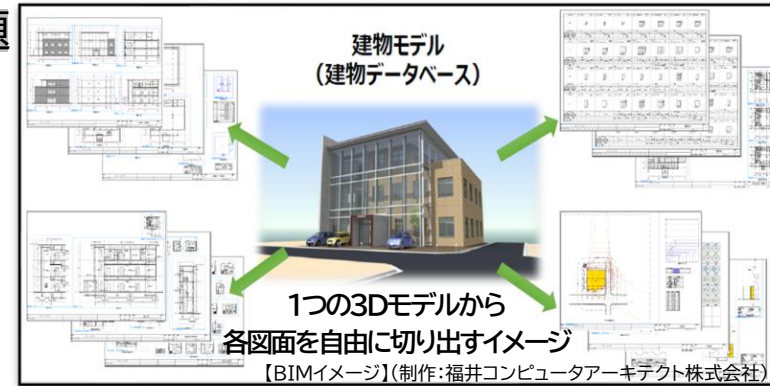
### 1. 本市にとってのBIMの必要性

- 設計初期から**見える化**でき関係者と具体的な協議が可能になり、**手戻り防止、市民周知も容易**になる
- 図面修正が自動化され**作業効率化・コスト削減**
- 建設業界の技術者不足や高齢化など課題に対し、**DX化により新規入職者や人材確保**ができる。

- 国土交通省は、直轄工事で**原則として全ての新築設計業務**にBIM活用を義務付け(2023年度～)
- 2024年度時点で、政令市の**約半数**がBIMに着手

### 2. 本市におけるBIM活用の課題

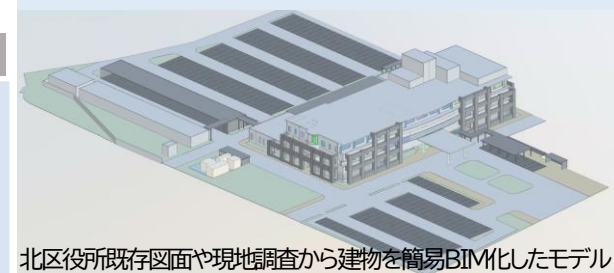
- 課題1: 使用できる**環境が少ない**
- 課題2: 利活用できる**市職員が少ない**
- 課題3: **地元建築業界におけるBIM普及が進んでいない**



### 3. 本市におけるBIMの取組み(重点3カ年ロードマップ)

	令和7年度(2025) ▼現時点	令和8年度(2026)	令和9年度(2027)	以降
対応1 環境整備・調査研究	BIM用モバイルPC(1台)、BIMソフト(Revit、Archicad)導入	共通データ環境(Common Data Environment)整備	熊大大西教授と <b>BIM共同研究</b> (北区総務企画課連携)	調査研究結果の反映・実装等
	外部研修(九地整研修、国交省研修)受講、他都市視察	今秋スタート 市職業訓練センターと連携した <b>市職員向けBIM講座開設</b> 集中育成	個別案件でのBIMの試行( <b>公文書館整備</b> ・小島保育園整備等を想定) 小規模案件等での市職員によるBIM設計試行	拡大実装
対応2 市職員の 人材育成	「本市BIM試行要領」公開	設計条件へのBIM要件追加検討	設計プロポーザルにおけるBIM活用提案募集	
	「本市BIM試行要領」公開	設計条件へのBIM要件追加検討	設計プロポーザルにおけるBIM活用提案募集	
	設計プロポーザルにおけるBIM活用提案募集			
対応3 業界人材 育成 普及啓発	「本市BIM試行要領」公開	設計条件へのBIM要件追加検討	設計プロポーザルにおけるBIM活用提案募集	
	「本市BIM試行要領」公開	設計条件へのBIM要件追加検討	設計プロポーザルにおけるBIM活用提案募集	
			県内民間BIM推進機運醸成(建築士事務所協会等)・民間人材育成・BIM推進協議会設立投げかけ等	

【北区役所 簡易BIMモデル】



【公文書館 設計BIMモデル】

